その他
関連資料

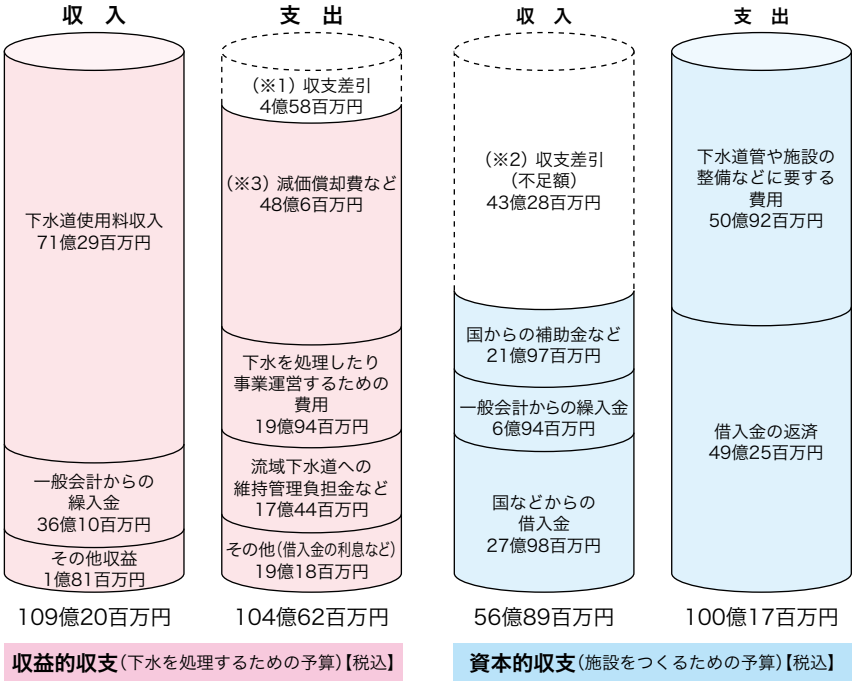
・関連資料集

関 連 資 料 集

～ 下水道事業の財政 ～

下水道事業は、主として租税を財源とする一般行政事業と異なり、事業のために必要な経費を下水道使用料によってまかなっています。このようなことからも、経営状況を明らかにするため、一般会計とは別に公営企業会計として「下水道事業会計」を設けて事業運営を行なっています。

平成24年度 下水道事業予算 204億79百万円



（※1）「収入」と「支出」に差がある理由

公営企業の利益は、一般企業のように株主や社員への配当はなく、すべてが施設整備や企業債元金を返済する資金として使われます。

事業を健全に発展させるために適正な利益を確保することが重要になります。

（※2）不足額はどうなる？

資本的収支の不足額は、収益的収支の差益や減価償却費などによって補てんされます。

（※3）「減価償却費」とは？

施設や設備は時間経過とともに、その価値が減少していきます。この価値の減少分を費用として計上したもので、現金の支出はありません。

そのため、この分は現金として残ります。これを「内部留保資金」と言い、資本的収支の収入の不足額を補てんする財源になります。

下水道の維持管理に必要な経費の負担区分に関する原則

■家庭や事業所から排出される汚水

下水道使用料によりまかなっています。

■雨　水

「雨水公費」の原則により、一般会計繰入金（市税）によりまかなっています。

雨水は自然現象に起因するもので、その原因者を特定することが困難であるほか、雨水の排除は広く一般市民の利益となるためです。

下水道使用料

汚水の処理をはじめ、処理場や下水道管渠等の施設の維持管理のために必要な多額の費用には、下水道使用料を充てています。公共下水道に接続されますと、条例に基づき、各家庭や事業所で排水された量に応じた使用料をご負担いただいています。

■下水道使用料単価表（1か月・税込）

（平成24年度現在）

金　額		汚水量区分	金　額
	基本料金	8㎥	946.05円
一般排水	従量使用料（1㎥につき）	8㎥を超え 20㎥まで	154.35円
		20㎥を超え 30㎥まで	163.80円
		30㎥を超え 50㎥まで	227.85円
		50㎥を超え100㎥まで	279.30円
		100㎥を超え200㎥まで	325.50円
		200㎥を超え500㎥まで	399.00円
		500㎥を超える分	426.30円
特定排水（1㎥につき）		750㎥を超える分	435.75円
公衆浴場汚水（1㎥につき）			34.65円

快適な暮らしを支える下水道、その下水道を支え続けているのは使用料です。
大切な財産である下水道を将来の世代へ引き継ぐためにも必要不可欠です。

■下水道使用料の計算例（1か月・税込）

例えば、1か月の使用水量が20㎥の場合…

①基本使用料分
　8㎥まで　946.05円

②従量使用料分
　8㎥を超え20㎥まで
　154.35円×12㎥（20㎥-8㎥）＝1,852.20円

③下水道使用料
　①＋②＝2,798円（円未満切り捨て）

関連資料集

～ 下水道事業データ ～

区分			22年度	対前年比(%)	23年度(閏年)	対前年比(%)	22年度(公共下水道事業) 全国平均(法適用団体のみ)189事業所	同規模事業所平均23事業所
行政区域内人口(A)		人	338,751	100.4	340,339	100.5	312,050	358,899
行政区域内戸数		戸	137,107	101.2	138,919	101.3	—	—
処理区域面積	計画	ha	8,038.1	—	8,038.1	—	4,867	7,336.7
	整備	ha	5,302.0	—	5,338.4	—	3,668	5,164.5
	整備率	%	66.0	—	66.4	—	75.4	70.4
計画区域内人口		人	337,593	100.4	339,195	100.5	298,063	320,499
処理区域内人口(整備済)(B)		人	327,433	100.5	329,369	100.6	275,154	282,205
人口普及率(B/A)		%	96.7	—	96.8	—	88.2	78.6
水洗化人口		人	317,512	100.5	319,743	100.7	266,052	261,003
水洗化率		%	97.0	—	97.1	—	96.7	92.5
下水道有収水量合計		㎥	37,146,261	101.2	36,849,775	99.2	32,372,466	31,740,336
下水道有収水量(処理区単位)	湖西	㎥	12,710,052	100.7	12,606,895	99.2	—	—
	大津公共	㎥	12,914,040	101.5	12,786,280	99.0	—	—
	藤尾	㎥	537,080	102.1	533,310	99.3	—	—
	湖南中部	㎥	10,985,089	101.3	10,923,290	99.4	—	—
管渠延長		km	1,359.1	100.8	1,372.7	101.0	1,017.7	1,392.3
下水道使用料		千円	6,890,193	107.2	6,817,178	98.9	4,410,227	4,665,965
総収益		千円	10,699,706	59.5	10,898,085	101.9	7,914,867	7,977,591
総費用		千円	9,224,982	52.3	8,874,183	96.2	7,527,631	7,679,000
純利益		千円	1,474,724	—	2,023,902	—	431,885	298,591
企業債残高		千円	72,114,522	95.2	68,553,835	95.1	—	—
職員数(年度末)		人	50	96.2	53	106.0	79	80

※H22より地方公営企業法適用となり金額は税抜き表示としている。
※同規模事業所とは、総務省が示す事業別類型区分の処理区域内人口別区分10万人以上、有収水量密度（有収水量／処理区域面積）5.0千㎥／ha以上7.5千㎥／ha未満、供用開始後25年以上の類型区分Ab1の都市のうち公共下水道事業で地方公営企業法適用事業所としたもの。

関 連 資 料 集

～ マンホール蓋コレクション ～

1. 大津絵のデザイン

「市の木（山桜）、市の花（叡山すみれ）、市の鳥（ゆりかもめ）」を中心に、大津絵の「藤娘」と「鬼の寒念仏」を左右に、下段に「びわ湖」と「瀬田の唐橋」をあらわしたものです。

2. 大津市政100周年記念デザイン

平成10年10月1日に市制施行100周年を迎え、これを記念して、大津市にふさわしいマンホール鉄蓋のデザインを公募しました。審査を経て、最優秀賞に選ばれた作品をもとに、大津市制100周年記念マンホールキャップを製作しました。この作品は、市制施行から100年目の大津市の景観をモチーフにしています。

3. 旧志賀町のデザイン

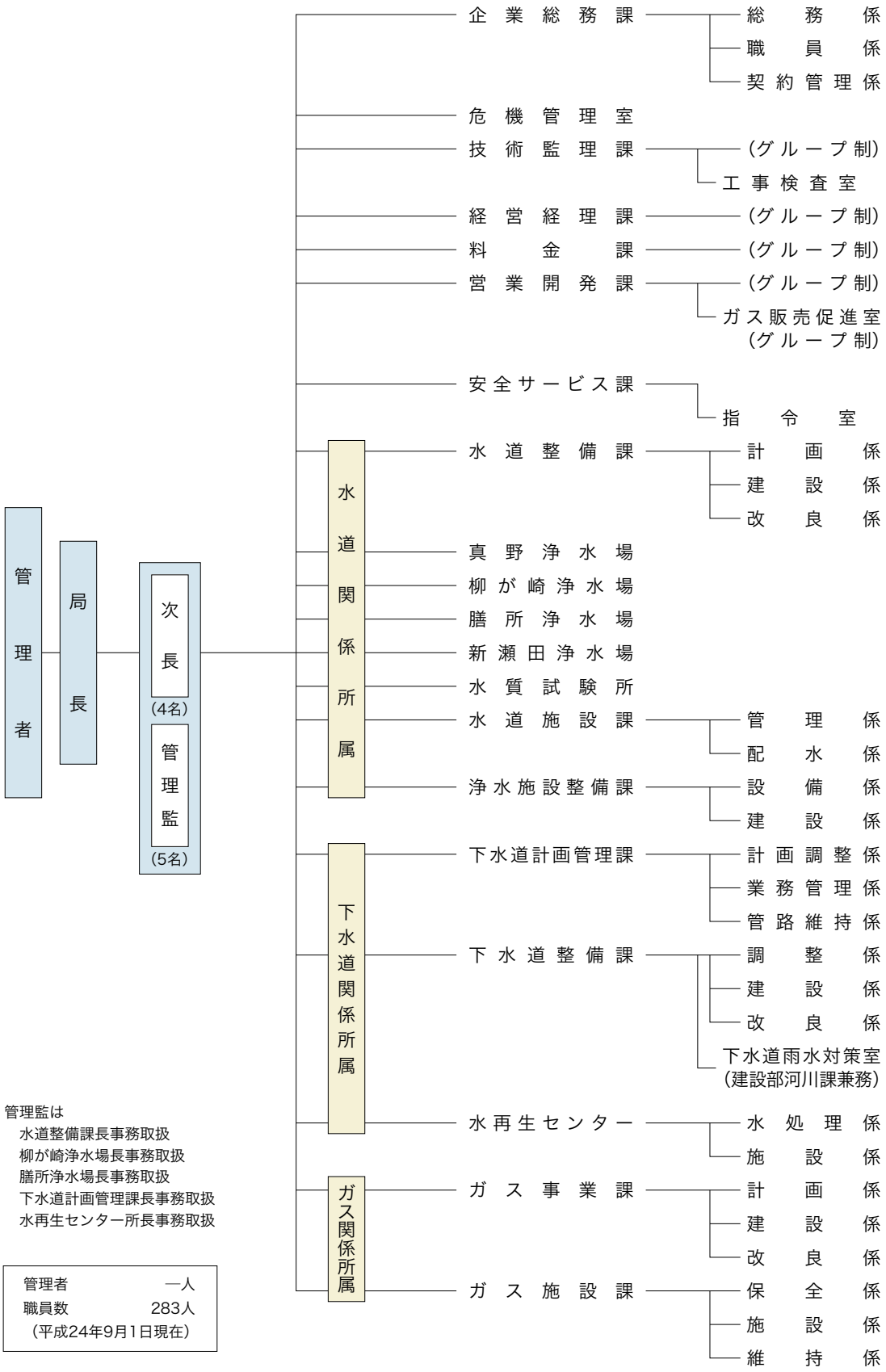
湖と山に囲まれた志賀町の豊かな自然を題材にし、町の花「しゃくなげ」と、琵琶湖に遊ぶヨット、颯爽とそびえ立つ比良連峰を表現しています。

4. その他のデザイン

大津市内には一見、同じように見えていても、いろいろなマンホールの蓋があります。
ここでは、大津市にあるマンホール蓋の一例を紹介します。

関連資料集

～組織図～



管理監は
- 水道整備課長事務取扱
- 柳が崎浄水場長事務取扱
- 膳所浄水場長事務取扱
- 下水道計画管理課長事務取扱
- 水再生センター所長事務取扱

管理者	一人
職員数	283人

(平成24年9月1日現在)

む　す　び　に

大津市公営企業管理者職務代理者
企業局長　　野村　茂年

平素より市民の皆様には、本市下水道事業に深いご理解とご協力を賜り、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。下水道事業着手50周年を迎え、本記念誌の発刊にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

本市の下水道は、昭和37年に琵琶湖岸沿いの低地の浸水対策を目的に、大津単独公共下水道として事業着手し、第一歩を踏み出しました。そして、昭和42年には琵琶湖岸埋め立て地の由美浜において終末処理場建設に着手し、昭和44年の完成により県内最初の下水道による汚水処理を開始しました。

さらに、高度経済成長期には、公共用水域の水質悪化という新たな課題に対応するための法整備が進み、下水道の役割として水質保全が位置付けられました。

このことから滋賀県の流域下水道計画に合わせ、本市では順次処理区域を拡大し、公衆衛生の向上はもとより、琵琶湖の水質保全という新たな使命を果たすべく下水道事業を推進してまいりました。

今日まで駆け足で下水道の整備事業を積極的に進めてきた結果、現在、市内4処理区において下水処理を行ない、全国平均よりも遥かに高い96.8％（平成24年3月末現在）という下水道人口普及率に至っております。

この度、50周年を迎えることができましたのは、各関係機関の指導のもと、市民の皆様をはじめ本市下水道事業の礎を築かれた先輩諸氏のご理解、ご尽力の賜物と厚くお礼申し上げます。

今後とも、公営企業としての社会的責務を深く自覚し、下水道事業を取り巻く諸課題に適切に対応するとともに、市民の皆様の安全で安心な暮らしを支え続けられるよう、将来を見据えて一層の健全経営に努めてまいります。

ここに、本市の下水道事業50年のあゆみを振り返り、同事業が果たす役割や現況を広く市民の皆様に知っていただくため、この記念誌を刊行いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

平成24年9月

大津市企業局

http://www.otsu-kigyo.jp/

大津市下水道50年のあゆみ
～ 未来へつなげる水のみち ～

平成 24 年 9 月

発　行　大津市企業局
大津市御陵町 3－1
TEL 077-523-1234(代)

編　集　企業局下水道計画管理課
TEL 077-528-2764(直)
E-mail otsu1901@city.otsu.lg.jp